

議会だより



みなね

平成24年
4月13日 発行

第25号

「みんな元気な新1年生」

写真提供：吉田博光さん（鶴川字東鶴の巣）



も く じ

当初予算の概要	2～3
当初予算審議、補正予算	4～7
一般質問（7人が登壇）	8～11
臨時会、請願・陳情	12～13
所管事務調査報告	12～13
三種の星、人事異動、編集後記	14

発行：三種町議会

編集：議会広報編集特別委員会

〒018-2401 秋田県山本郡三種町鶴川字岩谷子8番地

TEL(0185)85-4831 FAX(0185)85-2178

URL <http://www.town.mitane.akita.jp/>

総 額 157億円の予算額

町道整備に1億円など～



総合計画の後期初年度

平24年度当初予算は、養護老人ホーム改修事業や小町房住線改良工事などの大型公共事業が終了したこと、公債費の減額などにより、合併後最大規模となった前年度当初予算より43%・4億1千400万円の減となった。

前年度予算と比較すると、歳入では町税部門で固定資産税の評価替えによる減少幅が大きいものの、たばこ税の増収により全体で対前年比0.5%・600万円の微減となっている。最大の財源である地方交付税は、国の地方財政計画に基づき、3.6%・1億7千500万円の増となっている。

歳出では、社会保障経費の増加に伴い、医療費関係会計への支出が伸び、繰出金全体で5.3%・6千900万円の増となっている。減額分では、大型公共事業の終了や行政改

革大綱の実施により、経常経費が段階的に縮小している。

また、24年度からは「三種町総合計画」の6年目となり、後期計画の初年度にあたることから、次に示す5分野を重点政策事業として位置付けしている。

重点政策事業

①生活環境施設の整備

町道整備（自治会要望） 1億円
海抜表示板設置（津波被害防止対策） 300万円

②防犯対策（街灯維持管理等）

東部難視解消施設延伸（小新沢集落へ） 2千935万1千円
1千501万2千円

③少子化対策の推進

特定不妊治療（治療費助成） 210万円

福祉医療給付（中学生まで拡充） 1億9千600万2千円

誕生祝金（第2子以降誕生祝金） 950万円

子ども手当（15歳到達の3月まで） 2億802万円

子ども読書推進（児童書等の充実） 21万円

キッズスポーツスクール（水泳教室等） 24万8千円

④公共施設の改修整備

清華苑一般停電用予備発電機設置 865万円

ゆうばる施設改修 223万8千円

小中学校エアコン設置（保健室に設置9校） 291万7千円

浜口小学校トイレ改修（1階に車イス対応トイレ） 383万円

八竜中学校暖房設備改修 237万5千円

八竜野球場改修（内野改修） 425万3千円

B & G 海洋センター改修（屋根） 99万8千円

山本屋内ゲートボール場改修（屋根塗装） 408万7千円

学校給食センター外構改修（舗装補修） 379万8千円

役場本庁舎耐震診断業務 207万8千円

改善センター駐車場改修（ロータリー撤去） 350万円

役場本庁舎屋根防水等改修（議場屋根、変電設備設置） 439万5千円

旧八竜給食センター車庫補修（霊柩車等格納倉庫） 136万5千円

老朽化施設解体（旧鯉川小プール解体、整地） 1千204万1千円

橋本五郎文庫エアコン設置 62万7千円

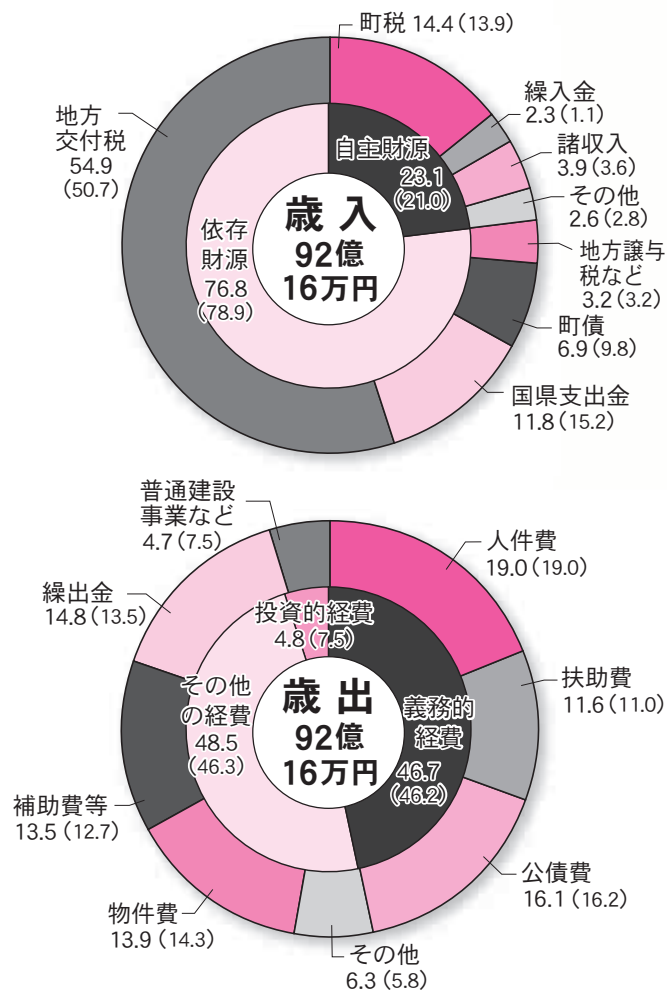
⑤地域資源活用産業振興への取り組み

農業夢プラン（農業法人等へ農業機械・施設整備助成） 1千106万8千円

えだまめ日本一産地条件整備（機械・設

平成24年度当初予算の概要と内容
をお伝えします。

三種町24年度一般会計当初予算案



※単位は%、カッコ内は前年度当初予算の構成比。端数処理のため、構成比の合計が100にならない部分がある。

◆特別会計

区 分	金 額
国民健康保険事業勘定特別会計	26億1,731万 円
後期高齢者医療特別会計	1億7,679万 2千円
簡易水道事業特別会計	2億7,059万 円
公共下水道事業特別会計	5億7,016万 5千円
農業集落排水事業特別会計	4億 490万 7千円
介護保険事業勘定特別会計	24億2,667万 5千円
介護サービス事業勘定特別会計	3,568万 7千円
衛生処理事業特別会計	2,950万 1千円
温泉事業特別会計	2,333万 8千円
国民健康保険診療施設勘定特別会計	1千円
特別会計合計額	65億5,496万 6千円

◆水道事業会計

区 分	金 額
収益的収入	1億4,109万 9千円
収益的支出	1億3,963万 1千円
資本的収入	4,562万 3千円
資本的支出	7,734万 5千円

一般会計

92億円

～中学生まで**医療費無料化**、



- ③雇用対策事業の継続
 - 緊急雇用創出臨時対策基金（雇用創出54人） 6千593万4千円
 - 地域雇用創出推進（町内事業所等へ支援） 3千万円
 - 若者就労支援（不登校・引きこもり経験者の就労支援） 591万円
 - 商工振興融資預託（中小企業振興資金） 1億7千万円
 - 商工振興資金利子補給等（利子補給等） 1千948万1千円
 - 地震復旧支援資金利子補給（東北地方太平洋沖地震復旧） 1千230万円
 - 住宅リフォーム助成 1千500万円
 - 特別支援教育支援員設置（12人） 1千440万円
 - 財政調整基金積立金（雇用対策） 1億2千400万円
- 備導入助成
 - 園芸施設共済加入促進（園芸施設共済加入者への助成） 296万1千円
 - じゅんさい日本一生産数量助成（出荷量に対する単価助成50円/kg） 1千500万円
 - 実証ほ場設置補助（水稻直播、ecoraイヌ栽培実証に対する助成） 180万円
 - 水田利活用緊急対策支援（転作大豆、町振興作物に対する助成） 2千万円
 - 特別栽培農産物認証取得助成（取得費用への助成） 100万円
 - プレミアム商品券発行助成 550万円
 - グリーンツーリズム助成（やまもと百姓大学、GT推進協議会） 20万円
 - じゅんさいの里活性化協議会補助 153万円
 - 地域資源活用特産品開発（こ当地グルメ開発、観光ビジョン推進） 522万円

当初予算審議

一般会計予算

問 放射線測定器の購入はどのような機器を予定しているのか。貸し出しはできるのか。

答 空間線量器で、県の環境センタ―で設置しているものと同等なものである。貸し出しは無理だが、地域・団体・個人等からの要望があれば、町から出向いて測定したい。

問 南部清掃工場の延命化工事の町の負担額は。また、周辺住民へ説明会を開催すべきと思うがどうか。

答 延命化工事に係る負担金については、24年度2千799万6千円、25年度、26年度はそれぞれ7千万円ほどが見込まれている。

今回の延命化工事は部品等の更新、改良であって、規模拡大するわけではない。環境汚染上の問題を少なくするものであり、説明会は広域事務組合で要望があれば開催すると聞いている。

問 観光費のデスティネーションキャンペーン推進はどのような事業展開をしていくのか。

答 JRが主体となって今年のプレデスティネーションキャンペーンから3カ年で行う日本最大規模の観光キャンペーンである。町では、観光誘致宣伝活動の実施、魅力あるイベントの開催、観光ガイドの充実など受け入れ体制の整備を進める。

問 じゅんさい活用着地型観光メニュー開発事業の内容と委託先はどこか。

答 「じゅんさいの館」内にじゅんさいの体験ツアーや取材受付、情報発信など、じゅんさいに関係した受付窓口を6カ月間設置し、受付窓口の一本化を図る事業である。委託先は商工会の予定。

問 緊急通報システム端末は何台購入し、配置はどのようになるのか。

答 10台購入する。三種町内一本で運用しており、申込みの早い順番で配置する。現在は10台という数の申込みはないので、10台で間に合



うと考えている。

問 小中学校保健室エアコン設置工事（9校分）は、今後全教室へ波及していくのか。

答 近年、熱中症など子どもを取り巻く環境が変貌しており、今回、各校の保健室へ設置する。この状況を踏まえて、学校から使用頻度等を調査し、全教室に設置するか今後の検討課題としていきたい。

問 スポーツ・文化合宿誘致推進事業の23年度の実績は。

答 23年度1月末までの実績で120チーム、3千562人が宿泊している。

国民健康保険事業勘定特別会計予算

問 医療費の無料化を小学生・中学生まで拡大したが、対象人数はどのくらいか。また、医療費を無料化することによって、国保財政はどのような影響を受けると見込んでいるのか。

答 現在実施している乳幼児医療分として654人。8月から実施予定の小中学生が1千150人。小中学生に拡充した分については、おおよそ100万円ほどが新たに現在の福祉医療費2千100万円に追加されることになる。もちろん、医療費の多寡により大きく変動する。

平成24年 3月定例会補正予算の内容

3月6日～9日

区 分	補正前の予算総額	追 加 補 正 額	補正後の予算総額
●一般会計	107億1,362万2千円	1億5,556万2千円	108億6,918万4千円
【主な歳出】			
・ 町村土地開発公社償還金		1億1,340万 円 (一般財源)	
・ 小町房住線道路改良事業		△ 6,140万4千円 (国庫、一般財源)	
・ 農業体質基盤強化整備事業		2億2,415万 円 (国庫)	
・ 山本中学校耐震改修事業		4,179万5千円 (地方債、国庫、一般財源)	

●特別会計

区 分	補正前の予算総額	追 加 補 正 額	補正後の予算総額
国民健康保険事業勘定特別会計	26億2,757万9千円	1,637万3千円	26億4,395万2千円
後期高齢者医療特別会計	1億5,993万3千円	115万 円	1億6,108万3千円
簡易水道事業特別会計	2億5,326万2千円	3,886万7千円	2億9,212万9千円
公共下水道事業特別会計	5億6,989万5千円	△ 20万 円	5億6,969万5千円
農業集落排水事業特別会計	2億 711万8千円	△ 363万8千円	2億 348万 円
介護保険事業勘定特別会計	22億7,539万9千円	3,666万9千円	23億1,206万8千円
介護サービス事業勘定特別会計	3,086万8千円	△ 114万1千円	2,972万7千円

●水道事業会計

区 分	補正前の予算総額	追 加 補 正 額	補正後の予算総額
収益的収入	1億4,661万 円	△ 312万2千円	1億4,348万8千円
収益的支出	1億5,166万7千円	312万 円	1億5,197万9千円
資本的収入	1,053万2千円	1億 340万 円	1億1,393万2千円
資本的支出	7,287万5千円	9,178万8千円	1億6,466万3千円

議案・補正予算等審議

三種町介護保険条例の一部改正

問 今回は大幅な改正だが、①中期の見込み額の把握、②所得段階の調整、③一般会計からの繰り入れの3点のポイントがある。②と③については、首長が判断すべきだと考えている。

所得段階の調整では、190万円が三種町の最大の区切りであるが、全国の町村では700万円までの区切りを設けているところもある。

一般会計からの繰り入れについては、国は指導はしているが、一般会計から出してはだめだという縛りはない。

答 所得段階区分を増やすことは、必要であれば検討したい。

一般会計からの繰り入れについては検討して試算もしてみたが、これまでのルールということで今回は実施しない。

全国的には一般会計から繰り入れしている事例もあるので、次の第6期計画に向けて検討したい。

平成24年度予算																	区分	審議された議案一覧	
専決処分																	議案名		
算 平成23年度一般会計補正予	水道事業会計予算	国民健康保険診療施設勘定特別会計予算	温泉事業特別会計予算	衛生処理事業特別会計予算	介護サービス事業勘定特別会計予算	介護保険事業勘定特別会計予算	農業集落排水事業特別会計予算	公共下水道事業特別会計予算	簡易水道事業特別会計予算	算 後期高齢者医療特別会計予算	国民健康保険事業勘定特別会計予算	一般会計予算	温泉事業特別会計への繰り入れ	農業集落排水事業特別会計への繰り入れ	公共下水道事業特別会計への繰り入れ	簡易水道事業特別会計への繰り入れ			
19	19	19	19	19	19	16	19	19	19	17	16	16	19	19	19	19	賛成	採決	
0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2	3	2	0	0	0	0	反対	状況	
承認	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	結果		

次ページへつづく

三種町簡易水道給水条例等の一部改正

問 私法上の債権が最高裁で認められた結果による条例改正ということである。払わない人には給水の停止という方法も強行策として残るわけだが、この改正によってきちんとした対応をするのか。

答 水道料金は民法第173条の第1号に規定された考え方になり、基本的には物の売り買いとなるので、料金を払わない方には売らないという考え方になる。

現時点では、3カ月未納の方に対しては催告を行い、その後、給水停止などの措置を行っている。町としても、滞納している者に対しては、断固たる措置を考えなければならぬ時期に來ていると考えており、そのまま放置するという意思はない。

三種町過疎地域自立促進計画の変更

問 観光案内所建設事業2千万円の内容は。

答 じゅんさいの館の敷地内に観光案内所と加工もできる体験施設

設、じゅんさいの喫茶店を兼ねた複合型の拠点施設を建設して、観光情報配信を行っていく事業である。

問 琴丘地域拠点センター建設について、建設場所は支所地内が適当であるとしているが、いつ、どのような形でどうして決めたのか分からない。

ある会合では、「J.Rの土地を購入し、駐車場の課題を解消する」と明言している。「公民館地内は黙っていても発展していく」。またある会合では、「土地は高ければ買わなくてもいい」と発言している。考え方に一貫性がない。

答 当初、今の車社会の流れからいつて公民館の跡地だろうと、極めて自然に考えていたが、現地を自分の足で歩いたりしてみると、商店街が非常にしっかりと形成されている町だと印象を持った。

三種町全体のまちづくりということとは一朝一夕には難しいだろうと思うが、各旧町単位のまちを考えた場合に、やはり琴丘地域の場合は駅を中心としたまちづくりが脈々と生きているなという感じを持った。

仮に現在の公民館のところに移転した場合、付近にはスーパー、保育



現在の琴丘総合支所

園、病院があり、決して悪い場所ではないと思うが、町の交流人口を初めとして地域の人の流れが大きく変わることに伴って、少なからぬ影響があるのがあるだろうと考えている。

公民館のある場所は、いずれ別の形で何らかの活用の仕方ができるのではないかと考えている。

駅前周辺については、高齢化社会に備えて一つのコンパクトなまとまりで高齢者の方、そしてまた高齢者のみならず若い人たちの通勤等、能代と秋田の中間ということでアパートなどがあるようだ。そういう意味で住まわれる方が多いと聞いており、若い人たちを引きとめるためにも、高齢者と若い人たちが共存でき

審議された議案一覧

条例制定・改正										平成23年度予算										区分
																				議案名
三種町簡易水道給水条例等の一部改正	三種町簡易水道給水条例等の一部改正	三種町簡易水道給水条例等の一部改正	三種町簡易水道給水条例等の一部改正	三種町簡易水道給水条例等の一部改正	三種町簡易水道給水条例等の一部改正	三種町簡易水道給水条例等の一部改正	三種町簡易水道給水条例等の一部改正	三種町簡易水道給水条例等の一部改正	三種町簡易水道給水条例等の一部改正	三種町簡易水道給水条例等の一部改正	三種町簡易水道給水条例等の一部改正	三種町簡易水道給水条例等の一部改正	三種町簡易水道給水条例等の一部改正	三種町簡易水道給水条例等の一部改正	三種町簡易水道給水条例等の一部改正	三種町簡易水道給水条例等の一部改正	三種町簡易水道給水条例等の一部改正	三種町簡易水道給水条例等の一部改正	三種町簡易水道給水条例等の一部改正	三種町簡易水道給水条例等の一部改正
19	19	16	19	19	19	17	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	賛成
0	0	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	反対
可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	結果

答 未納の方には通知をし、訪問のうえ、納付してもらっている。

問 制度が変わったことにより、子ども手当から給食費の未納等にも充てることができることになった。給食費に充てたケースはあるか。

一般会計補正予算

ゆめろんは町民の福利厚生と健康増進の施設との位置付けであることから、しっかりとした改修工事をやっていききたい。

工事費についてはまだ調査していないが、風呂を1階に下ろす改修工事になるのではないかと判断し、類似施設で同じような改修工事をしたところを参考にしたい。

答 風呂の下にあたるステージ横の控室、レストラン、厨房に水漏れが発生しており、緊急性があると判断して計画に載せた。

問 ゆめろん大規模改修事業に6億円を予定しているが、果たして経済効果はあるのか。

るような空間という形で何とか魅力のある駅前づくりをしたいと考えている。

議案採決結果

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 退…退席

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	結 果
議 案 名 議 員 名	鈴木 一幸	加藤彦次郎	清水 欣也	安藤 賢藏	工藤 秀明	堺谷 房子	平賀 真	伊藤 千作	近藤 一彦	金子 芳継	袴田 隆	三浦 敦	大澤 和雄	宮田 幹保	児玉 重吉	斎藤 清作	伊藤 広子	後藤栄美子	小澤 高道	
平成24年度当初予算																				
一般会計	○	○	○	○	退	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険事業勘定特別会計	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
後期高齢者医療特別会計	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
介護保険事業勘定特別会計	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	可決
条例改正																				
三種町町税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
三種町介護保険条例の一部改正	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
その他議案																				
三種町過疎地域自立促進計画の変更	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※採決の際に賛否が分かれた議案を掲載しています。

※議長は採決に加わりません。

その他					推薦		指定管理者の指定												
町道路線の認定	町道路線の変更	地区	字の区域の変更(地先开拓)	字の区域の変更(下岩川地区)	三種町過疎地域自立促進計画の変更	人権擁護委員候補者の推薦	人権擁護委員候補者の推薦	三種町飯塚多目的研修集会施設の指定管理者の指定	三種町農村歌謡会館の指定管理者の指定	三種町山本在宅介護研修センターの指定管理者の指定	三種町山本在宅介護研修センターの指定管理者の指定	三種町山本在宅介護研修センターの指定管理者の指定	三種町山本在宅介護研修センターの指定管理者の指定	三種町山本在宅介護研修センターの指定管理者の指定	三種町山本在宅介護研修センターの指定管理者の指定	三種町山本在宅介護研修センターの指定管理者の指定	三種町山本在宅介護研修センターの指定管理者の指定	三種町山本在宅介護研修センターの指定管理者の指定	三種町山本在宅介護研修センターの指定管理者の指定
18	18	18	18	18	16	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
可決	可決	可決	可決	可決	可決	決定	決定	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決

※3月8日の審議時は1人欠席のため、平成23年度補正予算、指定管理者の指定、過疎地域自立促進計画等その他の議案についての採決人数は18人となっている。

※3月9日の平成24年度一般会計予算の審議時は1人退席のため、採決人数は18人となっている。

琴丘総合支所の建て替えには反対



清水 欣也
議員

清水 町は、琴丘総合支所と琴丘公民館を改築しようとしているが、琴丘総合支所は、合併協議会が合併の時に打ち出した方針どおりに一定期間を置いて廃止し、本所に統合すべきである。

私たちの地域は、人口減少率が全国や県の平均に比べて非常に高く、その流れが将来に亘って続くことが確実視されているなかで、なぜ今、琴丘支所の建て替えなのか。本所に統合するまで現庁舎を改修することで対応する、また、それが望めないのであれば、他の現有施設を活用するなどの代替の道があるはずである。

そもそも、支所の改築問題は、町民に多額の財政負担を強いことになる事業であるほか、私たちの町の行政組織体制のあり方に直結する全体的な課題であって、琴丘地域だけの問題ではない。従って、今回の計画を推し

進めるにあたっては、今後、本所方式や総合支所方式をどうするかについて、改めて全町的合意を得ることが先であり、その前提なしに改築は行うべきでない。

町長 琴丘総合支所と琴丘公民館の老朽化が問題となっていることから、調査したところ、琴丘総合支所については耐震基準を満たしておらず、その改修には費用対効果の面で有効性が低いと診断されている。

合併当時の新町の投資計画や、その後の総合計画などにおいて、支所の改築計画が明記されていないが、町としては老朽化した危険な建物を早く整理し、地域住民にとって安心・安全を保障する地域の拠点として整備する必要があると考えている。

組織体制については、将来的には本所方式をとることを基本とするが、現段階ではまだ機が熟していないと判断していることから、当面の間は現行の総合支所方式でいきいたいと考えている。

第5期高齢者福祉計画に思う



後藤 栄美子
議員

後藤 平成12年4月に施行された本計画は、今年度に見直しされ第5期目を迎えた。計画内容は三つの施策で構成され、各事業が予定されている。「高齢者が安心して暮らせるまちづくり」の中の高齢者世帯等除雪支援事業の状況と今後の課題は。

町長 今年度新規の事業であり354世帯の申し込みがあった。大雪のため、当初の予想を上回り、シルバー人材センターの人手が足りず、希望世帯へ支援が行き届かず、近隣間で助け合ったようである。今後は、より良い事業にするため再検討したい。

福祉課長 354世帯のうち、297世帯で実際に除雪した。利用者からの要望は、排雪や屋根の雪降ろし等があった。今年度は説明不足もあったので、これらを踏まえ、除雪作業は地域の民生委員の意見を重要視していきたい。

後藤 「高齢者の参加といきがいづくり」の中での敬老事業の実施にあたり、敬老式に参加する方が年々減少している。出席者の年齢、記念品等の見直しは考えていないか。

町長 ご案内は、70歳、80歳、90歳、95歳、100歳以上、金婚式のご夫婦に行っている。記念品は、70歳木杯、80歳鳩杖、90、95、100歳以上は商品券、金婚式へは夫婦茶碗を贈呈している。出席者が減少している状況も検討し、本年度の敬老式までに結論を出したい。記念品は、賛否両論あり、検討したい。

後藤 地域包括支援センターで日常生活の調査をしたが、50%以上が「気軽にける場所が必要」と答えた。町内にはいつでも行ける集会所等がある。高齢者のため、冬期間だけ暖房用の灯油サードビスはできないか。

町長 町では平成24年度から自治会の交付金を統一する。趣旨はわかるが、各自治会で対応してもらいたい。

行財政改革に向けて民間の活力を



三種町学校給食センター

町長 山本地域の3保育園の統合問題を解決したあと、民営化するかどうかい

また、給食センターの運営管理、配送業務を民間に委託する考えはないか。



平賀 真
議員

平賀 公立保育園は、町正職員が22人、臨時・パート職員が31人（日給制）で運営されているが、長年、正職員の募集が行われておらず、臨時職員は不安な状態で勤務している。今後、民営化も含め、どのような運営をしているのか。

う話題が出てくるのではないかと。ここ2・3年で民営化という線は難しいと思う。

給食センターの民間委託は全県で41%、配送業務委託は43%となっている。当面は、特別食への対応や食材の地場産の活用を考慮し、現在のまま進めたい。外部委託をしても多くのメリットは期待できないと考えている。今後、給食運営委員会等の意見を聞きながら慎重に検討していく。

町内各施設の安全管理は万全か

平賀 各施設の安全管理の実態はどのような状況か。災害時の避難誘導、ケガ人・病人に対する応急処置、職員の対応マニュアル、研修等は行われているのか。

町長 施設ごとに防火管理者を定め、消防計画を作成している。災害時の避難誘導は自主的に避難訓練を実施している。応急処置のマニュアルは今後よく検討していく。救急救命講習は、文化・体育施設全職員を対象に行い、緊急時の対応に備えたい。AEDは順次、導入する。

三種町連合婦人会への補助金増額を



連合婦人会活動

町長 婦人会活動に対しては、今後も引き続き側面から手伝いをしていく。新年度から実施予定の「三種町元気づくり支援事業」の活用を検討し、会の活動に資していただきたいと考えている。



堺谷 房子
議員

堺谷 三種町連合婦人会の運営を盛り上げるべく、補助金の増額は考えられないか。

森林法第5条による森林計画の手続きは

堺谷 町は、「地域森林計画の第5条により、届け出をしないと伐採できない所が金岡地区にある」と、平成21年9月定例会にて答弁している。現在もこの法によって規制されている箇所があるのか。

町長 森林法第5条に基づく計画のなかで、そのような規制を受けた森林は金岡地区にはない。三種町では塚ノ岱に1箇所、大谷地に2箇所、川尻に2箇所の合計0・43haだけである。これは崩壊のおそれのある箇所に限って指定しているに過ぎない。

農林課長 平成21年9月定例会で答弁した指定解除の手続きは、県との協議を行ったが、その後、進んでいなかった。現在、県及び地権者と打ち合わせをしながら、手続きをとるよう協議を進めている。

国保税の引き下げを



伊藤 千作
議員

伊藤 国民健康保険法は第1条で、国民健康保険を

社会保障及び国民保健のための制度と規定し、第4条でその運営責任は国にあることを明記している。

国保は、憲法第25条に基づく社会保障制度であり、お金がない人を制度から排除するのは本末転倒である。

当町としても住民福祉の守り手として、一般会計から大幅な繰り入れを行い、税の値下げを行うべきだ。

町長 平成24年度当初予算に一般会計から2千万円の繰り入れを行っている。

大幅な繰り入れは、国保加入者以外にも多額の負担になることから、繰入額と受益者負担である保険税とのバランスや収支の状況を総合的に勘案し、適正な繰り入れ基準を決める必要があると考える。

一般会計から繰り入れて介護保険料の引き下げを

伊藤 当町の第5期介護保険料は5千883円で、4期比で1千275円引き上げになる。

介護保険給付費の増加分を高齢者の保険料負担に転嫁するのは、もはや限界である。

千葉県勝浦市や埼玉県三里町など、保険料の値上げを抑えるために一般会計から繰り入れていく。当町も一般会計から繰り入れ、負担軽減を図るべきだ。

町長 介護保険料を大幅に引き上げるのは、現在の経済情勢を考えると忍びないので、一般会計からの繰り入れを検討してきたが、繰り入れできないという壁があり、決断できないでいた。他市町村の動向も考えながら、今後の検討課題としていく。

「学校再編整備計画」への対応は



加藤彦次郎
議員

加藤 平成20年2月に策定された本計画で示されている「小規模化に伴う教育条件の低下」に対する所感は。

また、「小学校は旧三町の地域ごとに一校に」、「中学校は26年度以降に統合することが適切である」としているが、今後の方針は。

町長 教職員定数の減少や部活動の制約、人間関係能力の育成が難しくなることなど、教育条件の低下が心配されることは確かである。

また、学校管理運営費の効率化という面からも、学校統合は避けられない。

しかし、通学区域の地理的・社会的背景なども十分考慮する必要がある。中学校統合については本計画を基にしつつも、26年度以降という年次にはこだわらず、地域の意見を最大限尊重しながら進める。

H23年度 三種町の児童数 H24年2月1日現在（単位：人）

小学校	琴丘	金岡	森岳	下岩川	山本計	湖北	浜口	八竜計	計
6年	40	21	19	14	54	23	31	54	148
5年	33	15	17	10	42	39	23	62	137
4年	39	13	27	7	47	28	20	48	134
3年	31	15	15	9	39	26	32	58	128
2年	32	10	15	5	30	27	13	40	102
1年	31	9	15	7	31	25	16	41	103
計	206	83	108	52	243	168	135	303	752

H24年度からH29年度までの小学校新入学児童予定数

H24	32	15	12	7	34	20	17	37	103
H25	31	16	19	9	44	26	12	38	113
H26	34	12	15	5	32	25	13	38	104
H27	29	8	9	4	21	18	18	36	86
H28	14	13	16	3	32	22	14	36	82
H29	22	9	19	4	32	24	10	34	88
計	162	73	90	32	195	135	84	219	576

町内公共施設の放射線量測定を



大澤 和雄
議員

大澤 町内環境の安全確認のため、学校施設、公共施設等で放射線量を測定する計画はあるか。

町長 当町の安全性を確認するために、役場、各総合支所、学校等の公共施設や、ゆうばる、ゆめろんなどの観光施設周辺において、空間放射線量の測定を定期的に実施し、町広報やホームページで知らせていきたい。

また、学校給食センターでは、子どもたちへの安全・安心のため、給食に使用する食材の放射線検査を月2回の割合で実施する。保育園や幼稚園も同様に実施する予定である。

乳幼児医療費の拡大対象は

大澤 秋田県では、乳幼児医療費の助成対象を小学校卒業まで拡大する方針だ

が、当町では県の対応と合わせて対象年齢をどこまで拡大するのか伺いたい。

町長 当町では、秋田県の助成制度以上に医療機関窓口での一部負担金や所得制限をなくし、少子化対策の重点施策として対象範囲の拡大を進めてきた。

平成24年度においては、秋田県が予定している小学6年生までから、さらに中学3年生まで拡大し、当町に住む子どもの全てが同様の医療費助成を受けられるよう、1千円までとなっている自己負担や所得制限もなくする方針である。入院費についてもこの補助対象となる。実施時期は県の制度と連動することから、8月実施を予定している。



中学生まで医療費が無料に

自治功勞で表彰



上段左より	児玉重吉	安藤賢藏	近藤一彦	堺谷房子
	袴田 隆	伊藤千作	金子芳継	
下段左より	工藤秀明	平賀 真	三浦 敦	宮田幹保

平成24年2月24日、平賀真議員、三浦敦議員が、町村議会議員として15年以上在職し、地域の振興発展に寄与した功績により、全国町村議会議長会から表彰されました。

また、伊藤千作議員、近藤一彦議員、金子芳継議員、袴田隆議員（在職23年以上）が、議会制度の高揚と住民福祉の向上に

尽くされた功績により、さらに安藤賢藏議員、工藤秀明議員、堺谷房子議員、宮田幹保議員、児玉重吉議員（在職11年以上）が、地方自治の振興発展に寄与した功績により、秋田県町村議会議長会より表彰されました。

第1回 臨時会

日時:平成24年2月3日(金)

●専決処分の承認

- ・平成23年度一般会計補正予算1件

承認

●工事請負契約の一部変更

- ・契約名 小町房住線道路改良工事(7工区)
- ・変更部分(契約金額)
1億93万8,600円⇒1億328万3,250円

原案可決

●工事請負契約の一部変更

- ・契約名 三種町光通信網整備工事
- ・変更部分(契約金額)
1億9,456万5千円⇒1億8,459万円

原案可決

●工事請負契約の一部変更

- ・契約名 森岳小学校校舎大規模補修工事
- ・変更部分(契約金額・契約相手方)
6,898万5千円⇒7,128万5,550円
成田建設株式会社 代表取締役 成田 保
⇒成田建設株式会社本店 本店長 大和公彦

原案可決

請願 陳情 審査報告

請 願

件 名	請 願 者 氏 名	紹介議員	審査委員会	結 果
米の先物取引試験上場の中止を求める請願	秋田県米価対策共闘会議 議長 佐藤 長右衛門	伊藤 千作 大澤 和雄	産業建設常任委員会	趣旨採択
T P P交渉参加に向けた協議の中止を求める請願	農民運動秋田県連合会 委員長 佐藤 長右衛門	伊藤 千作 大澤 和雄	産業建設常任委員会	採 択

所管事務調査を終えて

総務常任委員会

【調査の日】

平成24年2月1日(水)

【調査内容】

- 平成23年度の町税未納・滞納状況と収納対策事務における執行について

【意見】

平成23年度の町税収納状況は、所管事務調査時点では昨年度と同等の収納率で推移していた。

収納対策事務は、未納者への督促状及び催告書はもちろんのこと、個別夜間訪問、毎月月末に行っている時間外納付窓口(17時15分～19時00分)などで確実な納付を促しており、新たな未納・滞納者が発生しないように配慮もされている。

近年は納税の利便性向上のため、口座引き落としを推進しているが、逆に滞納者を生み出す一因ともなっており、制度との関係もあるが、当局は一考の余地があるのではないかと。

納付能力がありながらの滞納、納付誓約不履行などのいわゆる悪質滞納者に対しては、県滞納整理機構への引き継ぎや預貯金調査・給与調査などを行い、差し押さえを執行してある程度の実績はある。しかし、県滞納整理機構への引き継ぎは職員を派遣していない場合、年間8件

陳 情			
件 名	陳 情 者 氏 名	審査委員会	結 果
能代山本医師会病院増改築事業の助成にかかる陳情書	社団法人能代市山本郡医師会 会長 山須田 健	教育民生常任委員会	採 択
年金受給資格期間25年を10年に短縮することを求める陳情	全日本年金者組合秋田県本部 能代山本支部 執行委員長 関 隆二	教育民生常任委員会	不 採 択
学校薬剤師報酬改善に関する陳情書	秋田県学校薬剤師会 会長 佐々木 吉幸 秋田県学校薬剤師会 能代山本支部 支部長 山田 克徳	総 務 常 任 委 員 会	採 択
最低賃金の大幅引き上げと、中小零細企業支援の拡充を求める陳情書	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中村 秀也 秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章	総 務 常 任 委 員 会	採 択
住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情書	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中村 秀也 秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章 秋田県国家公務関連労働組合共闘会議 議長 藤田 哲也	総 務 常 任 委 員 会	採 択
子ども・子育て新システムの導入に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書提出を求める陳情書	日本自治体労働組合連合秋田県本部 中央執行委員長 星野 博之	教育民生常任委員会	採 択
公的年金の「特例水準解消・2.5%引き下げ」に反対する意見書の提出を求める陳情	全日本年金者組合秋田県本部 能代山本支部 執行委員長 関 隆二	教育民生常任委員会	採 択



真剣な収納対策調査

までと制約があることから、他市町村の動向を把握し、適宜対応していただきたい。

滞納者の中には生活困窮のため、やむなく滞納せざるを得ないケースもあると考えられるが、高額滞納者も含む悪質滞納者へは、滞納が町の財政に影響を与えていることと、納税者間に不公平感が漂っていることを肝に銘じていただき、誓約書の確実な履行、納税意識の高揚を図り、それでも応じない場合には毅然とした態度で臨んでほしい。

収納対策室は、完納を目指して日頃から鋭意努力をしているが、納税者の公平性が失われることのないよう、滞納者には条例等に定める規定によって粛々と対応し、収納率の向上と収入未済額の減少に努力されるよう期待する。

三種の星



おさな い けん
小山内 健
金沢学院大学
(山本中出身)

私がウエイトリフティングを知ったきっかけは、同じ中学校出身の先輩が全国大会で優勝したことでした。また学年が一つ上の同じ柔道部の先輩も活躍し、自分も筋力に自信があったので、是非やってみたいと思いました。実際にやってみると、練習はとても厳しかったですが、記録が伸びていくのがうれしく、やりがいのあるスポーツだと感じました。

2年生の時の沖縄インターハイでは、幸運なところもありましたが、スナッチで優勝することができました。続く千葉国体でも順位は3位でしたが、最後まで優勝争いをする事ができ、とても良いシーズンを送ることができました。

しかし、その後は記録があまり伸びず、北東北インターハイ

を迎えました。そして記録は昨年を上回りましたが、順位は5位に終わり、とても悔しい思いをしました。

山口国体では大会2週間前に自己記録を更新し、とても良い状態で臨むことができました。当日は体調も良く、程良い緊張もあり、自分としては、最高の状態で試技することが出来ました。結果、スナッチでは最後の3本目を挙げて、逆転で優勝。ジャークとトータルでも3位に入賞することが出来ました。

私がここまで来られたのは、一生懸命に指導してくださった監督、コーチ、一緒に練習をした仲間達、そしていつも励まし、支えてくれた家族のおかげだと思っています。

4月から大学に進学し、競技を続けます。大学でも良い結果を残せるよう日々の練習に励み、感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思っています。そして目標はオリンピック出場です。



写真提供：北羽新報社



人事異動

(平成24年4月1日付け)

主査	大村和人 (町民生活課町民係へ)
主査	近藤政人 (町民生活課消防係より)
主査	松森定勝 (農林課参事より)
主査	悦郎 (定年退職)
主査	悦郎 (定年退職)

編集後記

桜の開花が待ち遠しい季節となりました。

月日の流れは早いもので、現在の広報委員での「議会だより」発行は今号で8回目となりました。新年度のスタートに伴い、より見やすく分かりやすい誌面づくりをするために、表紙のタイトル、原稿の掲載方法、レイアウトなどを変更しました。

特に大きく変更した点は、これまで1人1枚だった一般質問欄を半ページにし、限られたスペースではありますが、質問者の意図、当局の考えを「ギョウ」と詰め込み、より簡潔で分かりやすくなったのではないのでしょうか。

レイアウトなどにご意見・ご要望等ございましたら、今後の編集作業に反映させていただきますので、どうぞお寄せいただければ幸いです。これから身近な「議会だより」となるよう、編集作業にあたっていくしたいと思います。

伊藤 広子 記